

題字 故前田和二郎名誉教授
発行所 東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部
外科学教室同窓会(刀林会)
発行人 北島政樹

総会報告



刀林会理事長
国際医療福祉大学
副理事長 名誉学長
北島 政樹 (45回)

平成30年度、刀林会総会はホテルオークラに於いて6月23日(土)に開催されました。出席会員数は昨年と同様に169名でありました。総会開会の冒頭に平成29年度の物故者17名に対して黙祷が捧げられ、故人の冥福をお祈りいたしました。その後、例年通りに平成29年度同窓会及び外科学教室の年間報告を私と北川教室主任から行いました。現在の会員数は1196名であり、昨年と比較して21名の増員がありました。刀林会は常に組織のイノベーションを求めており理事会に於いて詳細に検討され、6委員会の委員長より刀林会の今後を見据えた報告がありました。特に将来構想委員会では2020年のオリンピック・パラリンピックイヤーの年に外科学教室開講100周年を迎え、記念事業に関する具体的な報告、また北川教室主任の日

本外科学会開催および刀林会の将来の在り方としての法人化などの報告がありました。また国際委員会では若手外科医の海外派遣、および韓国の延世大学との交流の推進など具体的な進捗状況の説明がありました。さらに学会支援募金として本年度は第32回日本内視鏡外科学会(東海大学小澤壯治君60回)および第42回日本呼吸器内視鏡学会(帝京大学川村雅文君61回)2学会の支援が決定いたしました。例年実施している刀林賞選考委員会に於ける選考課程と選考結果が報告され、総会に於いて刀林賞・狩野元宏君(86回)、刀林奨励賞・大島剛君(83回)、鈴木佳透君(89回)が受賞され、表彰後に研究内容が発表されました。その後、新入会者及び新入室者の紹介があり、理事会、評議員会で承認された1名について推薦者の北川副理事長より

紹介および、自己紹介がありました。林田哲専修医担当主任より平成29年度新入室者の報告があり、心臓血管外科の途中入室者2名、さらに95回生10名、同相当の10名の紹介があり、各自、自己紹介が行われました。新たな入室者の諸君には今後の刀林会の発展の貢献が期待され、大きな拍手で迎えられました。また恒例の刀林会講演会が松本、北川副理事長の司会で開催され、今回は趣向を凝らし、参議院議員、本塾医学部・法科大学院教授の古川俊治君(66回)による「今後の日本に於ける外科医療を巡る政策動向の展望」および日本から外科医がいなくなる事を憂い行動する会理事長、カルビー(株)シニアチェアマン、松本晃様より「Change, or Die」で講演をいただき、お二人の輝かしい業績と経験からの講演に参加者が感動いた

しました。講演後、刀林会の国際展開の為に国際交流基金の設立に多大な貢献をいただいた塾員(39年卒)、三橋洋之様に感謝の意を込めて賞状が贈呈されました。全員記念撮影後に平成29年度総会が滞りなく終了し、懇親会が開催され、2020年100周年を迎える輝かしい伝統を築き、継承してきた先輩、後輩が共に楽しい一時を共有する会でありました。

理事会・評議員会議事録概要

日時:平成30年6月23日(土) 15時より16時
場所:ホテルオークラ東京 別館地下2階アスコット

出席理事・評議員67名(うち書面出席13名)
互選により、評議員議長に熊井浩一郎君(46回)が全会一致にて承認された。報告審議案件と結果は次のとおり

報告事項

- 1. 平成29年刀林会年間報告(北島理事長)
会員数1196名(昨年度比21名増)物故者17名、開業4名
通常理事会3回、通常評議員会1回、通常総会1回
2. 教室年間報告(北川教室主任)
教室主任 北川雄光(65、一) 教室幹事 尾原秀明(72、一) 教室幹事補佐 篠田昌宏(73、一) 伊藤努(68、心) 大塚崇(75、呼) 藤村匠(86、小)
専修医担当主任 林田哲(77、一、総括) 木村

成卓(78、心) 菱田智之(77相、呼) 藤村匠(86、小) 研修医担当主任 八木洋(77、一、総括) 山崎真敬(78、心) 加勢田馨(86相、呼)
教室会議構成員 黒田達夫(61、小) 浅村尚生(62、呼) 北川雄光(65、一) 志水秀行(65、心) 尾原秀明(72、一) 川久保博文(73、一) 篠田昌宏(73、一) 北郷実(74、一) 和田則仁(74、一) 大塚崇(75、呼) 菱田智之(77相、呼) 木村成卓(78、心) 政井恭兵(85相、呼) 藤村匠(86、小) 連携教室員 渡辺真純(64、呼) 林田哲(77、一) 人事異動及び役職、職名の変更
一般消化器92名、心臓血管外科26名、呼吸器外科18名、小児外科12名の異動を中心に説明

委員会報告

- 1. 将来構想委員会(松本委員長) 一般社団法人化について説明 承認
2. 刀林賞選考委員会(幕内委員長) 刀林賞狩野元宏(86、小児) 刀林奨励賞大島剛(83、一) 鈴木佳透(89、一) 承認
3. 刀林新聞編集委員会(石井副委員長) 111号の掲載内容について
4. 新病院棟建設募金委員会(熊井委員長) 募金結果について(新棟募金結果4億08,656,220円、150周年募金1億36,710,910円合計5億45,367,130円)
5. 国際委員会(八木委員長) 韓国延世大学との国際交流について
6. 財務委員会(小澤委員長) 貸し金庫、三橋記念国際交流

基金1000万円新資金についての報告、外科学教室100周年記念事業への1000万円寄付、会費納入方法に銀行振込導入
3. 平成29年度会計報告(小澤財務委員長) 決算・財産目録・監査結果について報告
4. 新入室者(北川教室主任) 95回生10名、95回生相当10名、心臓血管外科2名 計22名

審議事項

- 1. 平成30年度事業計画(松本副理事長)
2. 刀林新聞発行
3. 学会支援募金
4. 刀林賞選考
5. 慶弔関連
6. ホームページ運営
7. 外科学教室100周年事業策定
8. 国際交流
9. 留学援助
10. 会員管理システム導入
11. その他 承認
2. 平成29年度決算及び平成30年度予算(小澤財務委員長・監査 尾原監事)
ほぼ例年通り 承認
3. 学会支援募金活動について(北島理事長)
・第32回日本内視鏡外科学会総会 小澤壯治(60回)
・第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 川村雅文(61回) 承認
4. 一般社団法人化について 説明 承認
5. 新入会員について 日本鋼管病院 黒田純子君 承認
6. 外科学教室100周年事業について(北川教室主任) 承認

総会議事録概要

日時:平成30年6月23日(土) 16時30分より
場所:ホテルオークラ東京 別館地下2階アスコット
出席会員数169名(前年同数)
会則により理事長が議長を務めた。
会員冒頭に平成29年度中に物故された刀林会員17名に黙祷がささげられた。

報告事項

- 1. 平成29年度同窓会年間報告(理事長)
2. 平成29年度教室年間報告(北川教室主任)
3. 各委員会報告
・ 将来構想委員会(松本委員長)
・ 刀林賞選考委員会(幕内委員長)
・ 刀林新聞編集委員会(川村委員長)
・ 新病院棟建設募金委員会(熊井委員長)
・ 財務委員会(小澤委員長)
・ 国際委員会(八木委員長)
4. 平成29年度決算(小澤財務委員長、尾原監事)
5. 平成30年度事業計画(松本副理事長)
6. 平成30年度予算(小澤財務委員長)
2. 学会支援募金(理事長)
1. 第32回日本内視鏡外科学会総会(会長東海大学教授小澤壯治60回)
総予算2億1千万円のうち1千万円の支援要請
2. 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会(会長帝京大学医学部長川村雅文61回) 総予算8千万円のうち5百万円の支援要請
3. 刀林賞表彰(理事長) 刀林賞 狩野元宏(86回)

慶應義塾大学医学部外科(小児外科) 刀林奨励賞 大島剛(83回) 慶應義塾大学医学部外科(一般) 消化器 鈴木佳透(89回) 足利赤十字病院
表彰の後、受賞者から研究についての報告があった。
4. 新入会者及び新入室者紹介(理事長)
総会前の理事会、評議員会で承認された1名が推薦者の北川教授より紹介があり、自己紹介があった。
平成29年度新入室者報告(林田哲専修医担当主任、77回)
途中入室者2名(心臓血管)、95回生10名、同相当10名の紹介があり、各自自己紹介
5. 講演会
司会:松本純夫副理事長
演者:参議院議員 慶應義塾大学医学部教授法科大学院教授 古川俊治君(66回)
演題:今後の日本における外科医療を巡る政策動向の展望
司会:北川雄光副理事長・外科学教室主任
演者:日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会理事長、カルビー株式会社シニアチェアマン 松本晃様
演題:Change, or Die
6. 感謝状贈呈
北島理事長
三橋記念国際交流基金
三橋 洋之様
7. 全員記念撮影
以上で平成30年刀林会総会を終了した。その後アスコットホールにて懇親会が開催された。

平成 29 年度 決算報告

平成29年度貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	28,632	36,888	△ 8,256
普通預金	18,698,715	21,161,935	△ 2,463,220
仮払金	350,000	450,000	△ 100,000
学会支援準備金会計立替金	472,755	234,753	238,002
流動資産合計	19,550,102	21,883,576	△ 2,333,474
2 固定資産			
(1) 特定資産			
① 学会支援準備金			
普通預金	3,733,584	107,257	3,626,327
定期預金	0	3,626,150	△ 3,626,150
学会支援準備金合計	3,733,584	3,733,407	177
② 刀林基金			
普通預金	15,543,671	16,243,538	△ 699,867
定期預金	0	0	0
刀林基金合計	15,543,671	16,243,538	△ 699,867
固定資産合計	19,277,255	19,976,945	△ 699,690
資産合計	38,827,357	41,860,521	△ 3,033,164
II 負債の部			
1 流動負債			
① 学会支援準備金			
一般会計未払金	472,755	234,753	238,002
流動負債合計	472,755	234,753	238,002
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	472,755	234,753	238,002
III 正味財産の部			
正味財産	38,354,602	41,625,768	△ 3,271,166
正味財産合計	38,354,602	41,625,768	△ 3,271,166
負債及び正味財産合計	38,827,357	41,860,521	△ 3,033,164

平成29年度収支計算書総括表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	総合	一般会計	学会支援準備金	刀林基金
I 収入の部				
① 会費収入	5,062,000	5,062,000	0	0
② 広告収入	350,000	350,000	0	0
③ 利息	313	3	177	133
④ 寄付金	200,000	200,000	0	0
⑤ 雑収入	0	0	0	0
当期収入合計(A)	5,612,313	5,612,003	177	133
前期繰越収支差額	41,625,768	21,883,576	3,498,654	16,243,538
収入合計(B)	47,238,081	27,495,579	3,498,831	16,243,671
II 支出の部				
1. 事業費				
① 「刀林」発行費	839,535	839,535	0	0
② 総会補助	1,395,186	1,395,186	0	0
③ 支援寄付金	0	0	0	0
④ 刀林賞賞金	700,000	0	0	700,000
事業費計	2,934,721	2,234,721	0	700,000
2. 管理費				
① 人件費	1,718,946	1,718,946	0	0
② 通信連絡費/発送費	456,471	350,391	106,080	0
③ 印刷費	583,023	451,101	131,922	0
④ 会合費	156,869	156,869	0	0
⑤ 慶弔費	211,369	211,369	0	0
⑥ 雑費	322,080	322,080	0	0
管理費計	3,448,758	3,210,756	238,002	0
3. 経常外支出				
① 寄付金	2,500,000	2,500,000	0	0
経常外支出計	2,500,000	2,500,000	0	0
当期支出合計(C)	8,883,479	7,945,477	238,002	700,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,271,166	△ 2,333,474	△ 237,825	△ 699,867
次期繰越収支差額(B)-(C)	38,354,602	19,550,102	3,260,829	15,543,671

外科同窓会平成 29 年度会計監査報告

平成 29 年度収支決算報告書、財産目録に記載された内容及び金額は記載の通り相違ありません。

平成 30 年 6 月 11 日

慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 (刀林会)

監事

宇藤 暢 敏

監事

尾原 秀 明

平成29年度財産目録

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産(一般会計)	
現金	
現金手元有高	28,632
普通預金	
ゆうちょ銀行	
慶應義塾大学医学部外科学教室 同窓会	17,512,196
三井住友銀行	
慶大外科同窓会	779,833
ゆうちょ銀行	
刀林会募金委員会	406,886
仮払金	
来年度経費	350,000
学会支援準備金会計立替金	
学会支援準備金会計経費立替分	472,755
流動資産(一般会計)合計	19,550,102
2 固定資産	
(1) 特定資産	
① 学会支援準備金	
普通預金	
三井住友銀行	
外科同窓会学会支援準備金	3,733,584
学会支援準備金合計	3,733,584
② 刀林基金	
普通預金	
三井住友銀行	
刀林基金	15,543,671
刀林基金合計	15,543,671
固定資産合計	19,277,255
資産合計	38,827,357
II 負債の部	
1 流動負債	
① 学会支援準備金	
一般会計未払金	
一般会計より立替支払経費未払分	472,755
流動負債合計	472,755
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	472,755
正 味 財 産	38,354,602

刀林会会員懇親会報告



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
同窓会係

岡林 剛史(78回)

刀林会総会に引き続き、ホテルオークラアスコットホールIIに場所を移動し、例年通り刀林会会員懇親会が盛大に行われました。

懇親会に先立ち、恒例となつている参加会員全員の集合写真撮影を行いました。本年度は169名と大

変多くの会員の先生方のご参加をいただき、写真撮影の際の整列も一苦勞となりましたが、刀林会の結びつきと力を感じることができるとてもいい写真を撮ることができました。

その後、北島理事長から前田昭二先生(33回)の乾杯のご発声で、懇親会の開宴となりました。開宴後は、ホテルオークラの食事を立食形式で楽しみながら、ご歓談の時間となりました。非常に和やかな雰囲気の中、同期や出張先の恩師との再会を懐かしむ様子

や施設間の情報交換を積極的に行う様子が会場内の人々に見受けられました。この懇親会は、外科の四診療科が横断的に交流を行うことができ、唯一の会合であり、普段とは異なる話ができる貴重な機会であり、慶大外科の多様性と強みを生み出す重要な機会であると強く感じました。

会の後半では、この度刀林会へ多大なご寄付をいただいた三橋産業株式会社社長・三橋洋之様よりお話をいただきました。刀林会の益々の発展を期待する大変ありがたいお言葉をいただき、慶應医学の発展のためわれわれ刀林会会員がより一層の努力をしていかなければならないとの意を強くいたしました。懇親会の締

めとして、北濱圭一郎君(92回)のエルにより、「若き血」を全員で力強く斉唱しました。最後に北川教室主任より閉会のご挨拶をいただき、盛会のうちに閉会となりました。

昨年同様、女性外科医の姿が目立ち、非常に華やかな会となりました。彼女たちの活躍には目覚ましいものがあり、医局においても女性医師は今やなくてはならない存在であります。一方でそんな若い彼女たちが、安心して働くことができるとして環境作りも重要です。刀林会会員の先生方におかれましては忌憚のないご意見をいただき、より良い環境作り

に活かしていきたいと思



一般社団法人化について



将来構想委員会―法人化委員会委員長
東京医療センター名誉院長
松本 純夫 (52回)

2018年6月23日に開かれた刀林会理事会・評議員会および総会で決定された同窓会を任意団体から一般社団法人への移行の準備状況を報告します。別表に任意団体と社団法人および認定特定非営利活動法人(通称：認定NPO法人)の比較表を示します。刀林会の施行事業、会員の権利、評議員の選出、理事の選考方法などは大きな変更を加えずに従来の方法に準ずる定款の準備をしています。本原稿を用意している時点の予定では、パブリックコメント募集として定款案をホームページに掲載し、その後臨時総会を開いて法人設立賛否をあらためて会員の皆様に問います。

ここでは一般社団法人設立のメリットとデメリットを紹介します。
1、任意団体と違って、法人格を持つ団体として信用がつけます
任意団体は、別名「権利能力なき社団」と言います。町の町内会、マンションの管理組合、学会などは任意団体で行うことが多いですが、営利活動、非営利活動を行う際

には、法人格を有する方が信用力がつきます。
2、契約を法人名義で締結できます
任意団体の場合は、代表者の個人名で契約を締結します。一般社団法人を設立することにより、法人名義で契約を締結することができるようになります。
3、事業に制限はありません
一般社団法人は、より幅広い目的で活動する法人格として注目されています。NPO法人は、業種に制限があったり、年度ごとの活動報告義務があったり、いろいろな制約があるため、一般社団法人よりも敷居が高くなります。一般社団法人は、より幅広い目的で活動する法人格として注目されています。NPO法人は、業種に制限があったり、年度ごとの活動報告義務があったり

いろいろな制約があるため、一般社団法人よりも敷居が高くなります。一般社団法人は、より幅広い目的で活動する法人格として注目されています。
5、どなたでも法的要件を満たせば、登記によって設立できます
これまで、社団法人の設立は、民法に規定により所轄の省庁が裁量で設立を認可していました。定款の登記によって誰でも容易に設立できるようになりました。
非営利を主な目的とする場合、NPO法人に比べて、行政庁による許認可がありません。法人運営に制約が少ないにもかかわらず、同等の税制優遇措置を受けられることが可能になりました。
2名から設立が可能です
一般社団法人の社員とは、一般社団法人の構成員のことをいいます。一般社団法人の設立時に必要な社員数は2名です。ただし、法人成立後は社員が1人になっても、解散しなくてもよいです。社員が1人になっても、一般社団法人として存続が認められます。

6、法人名義で銀行口座を開設できます
一般社団法人を設立すると、法人名義で登記し口座を開設することができます。法に定められた法人運営を行う必要があるため、組織の基盤がしっかりとし、社会的信用を得られます。任意団体は、団体名義で口座を開設したり、不動産の登記をすることができません。代表者の個人名義で行います。刀林会はこれまでも理事長が交代するごとに個人名義の書き換えが必要となり、手続の煩雑さが問題でした。
7、相続税が発生しない、経費の認められる範囲が広い
法人は相続税が発生し

ませんし、倒産時、代表者は借金を負わない安心があります。さらに法人として事務職員を雇用し、源泉徴収をも含めて社会保障費を取める組織として認定されます。
8、不動産の直接の登記名義人になることができます
一般社団法人は法人格を与えられているので、不動産の登記名義人にもなることも可能です。
9、社員は一般社団法人の債務について責任を負いません
法人格がないと、代表者個人の名義で登記、銀行口座の開設をするため、団体と個人の資産の区分が困難になります。また、代表者が代わると団体の運営、存続に支障をきたすこともあります。任意団体のままでは、契約を締結できないことと、個人が責任を負う恐れがあります。一般社団法人設立により、上記の問題をクリアーできます。
10、公益認定等委員会の認定を受ければ、公益社団法人への移行が可能
公益社団法人への移行手続の流れは、以下の通りです。
1. 新たな一般社団法人として基準を満たすよう事業内容や財務内容などを見直します。
2. 公益社団法人になった場合の名称の変更など、定款の変更を意思決定をしておきます。
3. 公益社団法人への認可の移行を受けようとする法人は、公益目的財産額という正味財産を基礎

として算定した金額をゼロにするという公益目的支出計画を作成しなければなりません。
4. 内閣総理大臣、または都道府県知事に対して認定申請書類を提出します。
5. 申請後、公益認定委員会が認可するかどうかの審査を行います。
6. 認可が決定すると認可書が交付されます。
7. 申請後、公益認定委員会が認可するかどうかの審査を行います。
8. 認可が決定すると認可書が交付されます。
9. 申請後、公益認定委員会が認可するかどうかの審査を行います。
10. 認可が決定すると認可書が交付されます。

3、非営利性が徹底されている社団のみ、税制の優遇措置があります
刀林会は当面一般社団法人としての運営を目指しています。将来、公益社団法人になるようなことがあれば、公益目的事業(34種類の収益事業を除く)に対して、法人税は非課税になります。また、みなし寄附金制度が適用されるという税制上の優遇措置があります。
まためとして、業務の制限がないこと。手続が簡単であること。法人名義で取引ができること。設立費用が安いこと。公益的で聞かえがよいことが挙げられます。法人化によって刀林会としてのミッションを遂行しやすくなり達成感を会員が共有できる仕組みとなると考えています。

任意団体と社団法人の比較

法人名	任意団体 法人格なし	一般社団法人		認定特定非営利活動法人 (通称：認定NPO法人)
		非営利型	その他	
根拠法	なし	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律		非特定非営利活動促進法(通称NPO法)
性格	営利/非営利	非営利		非営利
目的事業	任意	目的や事業に制約はなく、公益事業・収益事業・共益事業等可		特定非営利活動(NPO法20分野)
設立方法	任意	公証人役場での定款(非営利性徹底した定款)認証後に登記して設立(準則手続)	公証人役場での定款認証後に登記して設立(準則主義)	NPO法人のうち要件を満たしていれば所轄官庁が認定
設立要件	任意	社員2人以上		社員10人以上(常時)
議決権	任意	1社員1票		1社員1票
最高議決機関	任意	社員総会		社員総会
役員	任意	理事3人以上 理事不設置も可 大規模は会計監査人が必要	理事1人以上 理事不設置も可 大規模は会計監査人が必要	理事3人以上 監事1人以上
代表権	任意	理事		理事
剰余金の扱い	任意	剰余金の分配はできない		剰余金の分配はできない
税制等	収益事業課税	収益事業課税	全所得課税	収益事業課税、寄附金の税額控除、みなし寄附金等が適用
法定設立費用	無料	11万円		無料
その他				

事業のために支出した金額を寄附金とみなす制度のことを言います。非営利型の一般社団法人にも税制上の優遇措置がありますが、みなし寄附金制度はありません。
まとめとして、業務の制限がないこと。手続が簡単であること。法人名義で取引ができること。設立費用が安いこと。公益的で聞かえがよいことが挙げられます。法人化によって刀林会としてのミッションを遂行しやすくなり達成感を会員が共有できる仕組みとなると考えています。

帝京大学医学部長 就任



帝京大学医学部長

川村 雅文 (61回)

本年4月1日付で帝京大学医学部長を拝命いたしました。慶應義塾大学から帝京大学に移籍して8年になります。最初の5年は呼吸器外科グループの新設から始まり、医局員集め、診療体制の確立と呼吸器外科診療を中心に、またこの3年間は外科学講座の主任教授、診療担当副院長として教室や病院の診療全般を仕事にまいりました。その最中診療に関していきなり戦力外通告を受けてしまいました。急に医学教育が仕事の目玉になってしまいました。この半年間は戸惑いながらも色々と勉強させていただきました。

当面の課題は日本医学教育評価機構 (JACME) による医学教育分野別評価を2年後に受審し認定を受けることにあります。この詳細は慶應義塾医学部新聞の10月号にも出ていますので省かせていただきますが、ものすごく纏めて言ってしまうと医学教育の世界でもガバナンスと目標設定をきちんとやって、その上でPDCAサイクルを回して常に問題点を修正してい

きなさい。ということでしょうか。

帝京大学は医療系3学部 (医学部、薬学部、医療技術学部) が板橋キャンパスに集められ、大学院を含めると5000名の医療系学生が一つキャンパスで勉強しています。アウトカム基盤型医学教育の中でも重要な柱であるチーム医療 (あるいは医療コミュニケーション) やプロフェッション) やプロフェッション) やプロフェッション) など学ぶ上では大変優れた環境にあります。その力を十全に発揮するために、それを動かす仕組みをきちんと整備することが必要です。その意味では医学教育分野別評価をこれから受審することは本学にとって時期を得たことだと思います。

帝京大学の教育理念は『自分流』です。『自分流』というとか自分勝手な人をイメージしてしまいがちですが、そうではなくて『人にはそれぞれ個性があって自分にはしかないものを持っている。自分が何を持っていて何をしたいか自分で考えて、失敗してもいいから実行しなさい。その試行錯誤の中で自分を磨いていくことを大学は生涯に亘って応援します。』というものです。福澤先生の『独立自尊』に通じるものがあるなど私は思っています。むしろ平成の世にあつてはこれらの方が学生には受け入れられやすいかと感じています。本学の学生達はややゆったり感がありますが皆たいへん真面目です。この『自分流』を前面に押し立てて彼らのプロ意識を高揚し、さまざまな臨床の現場で活躍できる医師に育て上げることにこれから注力して参りたいと存じますので刀林会員の皆様のご指導・ご鞭撻をこれからよろしくお願いいたします。なお私の後任の呼吸器外科教授を愛知県が呼吸器外科中央病院の呼吸器外科部長であった坂尾幸則先生 (昭和63年佐賀医科大学) にお願ひして、7月から着任してもらいました。来年の総会で刀林会への入会をお願いする予定でございますのでこちらも宜しくお願い申し上げます。

北里研究所病院の院長を拝命して 歴史と伝統の継承、そして未来に向けた飛翔



学校法人北里研究所
北里大学医学部 教授
学校法人北里研究所
北里大学北里研究所病院 院長
渡邊 昌彦 (58回)

この度、歴史と伝統ある北里大学北里研究所病院 (北研病院) の院長を拝命し、責任の重さを痛感しております。

福沢諭吉先生の援助のもと北里柴三郎先生は「1892年伝染病研究所」を立ち上げられました。しかし研究所には患者さんが最新治療を求めて押し寄せ、一方で研究所の運営には多大な資金が必要になりました。そこで、北里先生は1893年に福澤先生に提供していただいた広尾の土地に、福澤先生自ら命名された「土筆ヶ岡養生園」を建てられました。この我が国初の結核専門サナトリウム「土筆ヶ岡養生園」と、慶應義塾大学医学部創設と同じ1917年白金の地に建てられた「北里研究所付属病院」が、現在の北里研究所病院の前身であります。私たち病院職員はこの歴史と伝統を誇りにして、今日まで受け継いでまいりました。

私は本年7月に病院長職に就くと同時に、病院の財政再建と基盤整備に向け経営戦略会議を新たに設けました。経営戦略会議の下に4つの部会を設け、各々のリーダーに若手の医師や職員を配しました。まず、第一の部会は労働環境改善作業部会です。これは職員のアメニティーを充実させ、職員モチベーションが上がる働きやすい環境整備の実現を目指します。職員の労働環境の改善は、自ずと患者への接遇向上や安全な医療につながるに違いありません。次に業務効率化推進部会で、職員の努力が報われるように様々な視点から「無駄・漏れ」を排していきたく思います。患者接遇・サービス改善作業部会では、選ばれる病院を目指し患者サービス向上の取り組みを強化します。WEBの刷新や市民公開講座などの広報活動を充実させていくつもりです。新規事業開発部会では病院の将来を見据え、医療の質をさらに高める新規事業を企画したいと思っております。当院の都市型病院としての特徴を生かして、未来的な予防医学の確立も視野に入れた事業を展開していきます。

北研病院は小規模ながら優秀な医師を全科に揃え、家庭的な病院として多くの患者さんに長年親しまれてきました。外科は北川雄光教授の多大なる支援を頂き、池田正先生や石井良幸部長をはじめ大作昌義、落合大樹、迫裕之、雨宮隆介、前田日菜子、小桐雅世と非常勤の浅沼史樹、金田宗久の刀林会会員の先生方のお陰で外科は発展の一途を辿っております。近隣には有名病院が林立し、患者の大病院志向は止まらず、マスコミやネットによる医療情報も氾濫しています。このような状況に直面しながらも、北研病院は独自の存在感を示しつつ、親しみ易い病院としての地歩を固めてまいります。

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する
漢方の ツムラ <http://www.tsumura.co.jp/>
●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930



【効能・効果】、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤 劇薬、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準記載

アロキシ 静注 0.75mg Aloxi. I.V. injection 0.75mg
アロキシ 点滴静注バッグ 0.75mg Aloxi. I.V. infusion bag 0.75mg

パロノセトロン塩酸塩注射液 製造販売元 大鵬薬品工業株式会社 提携先 HELSINN スイス
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451
<http://www.taiho.co.jp/> 2016年9月作成

JCHO埼玉メディカルセンター 院長退任



JCHO埼玉メディカルセンター
名誉院長

細田 洋一郎 (50回)

慶應義塾大学医学部外科学教室に入局し、当時は卒業1年目は慶應で、2、3年目は関連病院外科で、4年目以降6年目までは再度慶應で臨床と研究を、その後関連病院にポストチーフとして出張というのが通常の外科教育の道順でした。そんなことで、昭和52年に、当時「埼中」の名称で呼ばれていた社会保険埼玉中央病院に外科医長として赴任しました。社会保険病院では当院が唯一の慶應の関連病院でした。その後、昭和61年に外科部長、平成4年に副院長、平成18年に院長に就任しました。ですから、副院長14年、院長12年と、院長、副院長で4半世紀以上を過ごしたことになります。医師としての大半を当院で過ごしたことになります。その間、今思い返すいろいろなことがありました。

病院の問題、そして、老朽化、狭隘化した病院の建て替えの問題だったと思います。平成16年以降、政治家の年金未納問題、国民年金不正免除問題、年金記録問題等、社会保険庁の不祥事のため平成21年12月31日で社会保険庁が廃止となり、政府管掌健康保険は協会けんぽへ、年金部門は日本年金機構に業務移管されました。私どもの社会保険病院、それと厚生年金病院、船員保険病院をどうするかという問題が発生し、譲渡すべきは譲渡となり、その他の病院は、独立行政法人年金福祉整理機構(RFO)を経て、平成26年より独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)に組み込まれました。私は、社会保険病院の時代から関東地区の理事院長、JCHOに移行してからも理事として移行に伴う各種規約や、職務規定の作成に携わってきま

推薦され、第1回のJCHO学会は尾身茂理事長が会長をなさり、第2回の会長を私が仰せつかりました。もう一つは病院の建て替えです。東日本大震災の前年に契約し、震災1か月後に着工、そして現地建て替えて工事中も病床利用率を減らさずに、build and scedという状況の中での建設でしたが、お蔭で8階建ての立派な病院が完成し、晴れて平成26年12月6日に竣工式を行うことが出来ました。

また、埼玉県医師会でもいろいろと仕事をさせていただきました。私が副院長の時に、埼玉県医師会会長が慶應の、それも外科の大先輩でいらした35回(山崎寛一郎先生)でした。先生が会長指名の常任理事にしてくださり、医師会の仕事を仰せつかりました。また、やはり外科の先輩でいらした市立病院の院長でいらした42回(戸倉康之先生)が埼玉県医師会の勤務医部長として、私を副会長に推薦して

くださいました。現在の金井忠男埼玉県医師会会長が戸倉先生の後任に、私を勤務医部長に指名くださり、勤務医問題を県医師会の中でも取り上げました。私は今年度で退任しました。現在では、現在NHU埼玉病院の原彰男院長(外科60回)を勤務医部長に推薦し、代々慶應出身者が会長を勤めております。また、戸倉先生は埼玉県医師会外科医会副会長をなさり、その後任を私が引き継ぎ、現在はさいたま市立病院の窪地淳院長(58回)が就任しております。つくづく、慶應義塾大学医学部外科の有難味を感じました。

埼玉県では、さいたま市立病院とNHU埼玉病院と当院が主な関連病院です。今後慶應関連病院として後輩の教育に、そして地元の方々の健康に貢献できるように現役の医師の努力を期待しております。

平成4年慶應義塾大学卒業後、慶應および関連病院、京都大学移植免疫学講座、英国2大学(Birmingham University, Leeds University St James' Hospital)に在籍後、2010年より藤田保健衛生大学旧肝・脾外科(杉岡 篤教授)に赴任し、本年4月より現職を拝命しました。これまで慶應の多くの先輩方に暖かく時には厳しくご指導頂き、また多くの同僚と楽しく仕事をさせて頂きました。ことに、改めて感謝申し上げます。

なお、本学では2017年4月よりこれまでの消化器外科関連4講座を統合し、総合消化器外科講座として再編し(主任教授宇山一朗先生)、さらに本年10月10日より開学50周年とともに大学名を藤田医科大学に改称しましたので、今後とも宜しくお願い致します。

私が管理職時代の大きな出来事は、消えた年金問題に代表される社会保険庁の解体、それに伴う社会保険

の問題、そして、老朽化、狭隘化した病院の建て替えの問題だったと思いま

推薦され、第1回のJCHO学会は尾身茂理事長が会長をなさり、第2回の会長を私が仰せつかりました。

また、埼玉県医師会でもいろいろと仕事をさせてい

さいたま市立病院の窪地淳院長(58回)が就任してお

埼玉県では、さいたま市立病院とNHU埼玉病院と

今後慶應関連病院として

平成4年慶應義塾大学卒業後、慶應および関連病院、

藤田医科大学総合消化器外科 教授就任



加藤 悠太郎 (71回)

性腫瘍は難治性であることが多く、また手術術式のバラエティが広く、高難度術式も多いため、安全で高度な手術を患者に提供できるように日々修練を続けています。また腹腔鏡やロボットを用いた低侵襲肝胆膵手術も推進しており、拡大手術の経験があればこそ、安全性と根治性を両立し得る手技の定型化、新規術式の開発、高難度症例への挑戦を続けたいと思います。とくにロボット肝切除は本邦では当科以外では殆ど行われておらず、保険未収載でもあり、当科での取り組みが国内外で重要な位置を占めていることを自覚して推進したいと思えます。

肝不全患者救済のための肝移植医療の普及、患者の拾い上げ、啓蒙活動は中部・東海地区では喫緊の課題で、慶應肝移植の黎明期や成長期を経験し、難しさは理解しているつもりが、最近閉塞感を感じる肝移植医療を再び患者さんに適切に提供できるように、尽力したいです。

当科は以前より超進行悪性腫瘍や重症肝不全など困難症例の治療を使命と考え、地域の「盾」としての自覚を持ち、新規治療法・術式の開発と実践を目指しています。また現行の手術や薬物では完治しない病態に対する研究の重要性に鑑み、個人的には重要視している移植免疫、がん免疫、虚血再灌流障害、がんの分子生物学、再生医療を主軸に、臨床知見からの疑問や仮説の解決・立証を目標に基礎医学研究者とのコラボを進めたいです。さらに手術術式の定型化に基づいた後進の指導・教育、優れた肝胆膵外科医の発掘、育成にも尽力したいと思えます。今後とも御指導、御鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

私の専門領域は肝胆膵外科で、悪性腫瘍に対する外科治療と生体肝移植を中心

肝不全患者救済のための肝移植医療の普及、患者の拾い上げ、啓蒙活動は中部・東海地区では喫緊の課題

成長期を経験し、難しさは理解しているつもりが、最近閉塞感を感じる肝移植医療を再び患者さんに適切に

提供できるように、尽力したいです。



東京慈恵会医科大学外科学講座 教授就任 ～ The sky's the limit. ～



大塚 崇 (75回)

平成30年7月1日付で東京慈恵会医科大学外科学講座、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科教授を拝命いたしました。これまでに刀林会の諸先生方より多くのご指導、ご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

特に外科学教室教授(浅村尚生教授、北川雄光教授、志水秀行教授、黒田達夫教授)の先生方には東京慈恵会医科大学教授就任に当たり、多大なるお力添えを頂きました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。また、迎えていただいた東京慈恵会医科大学の皆様にも深く感謝申し上げます。東京慈恵会医科大学は外科医である高木兼寛が慶應義塾医学所出身の松山棟庵とともに1881年に設立した成医学会講習所に始まります。慈恵医大外科学講座は2001年に複数存在していた外科教室を統合し、大講座制を確立しました。現在は呼吸器・乳腺内

分泌外科、消化器外科、小児・血管外科の3つの分野があり、各々に分野担当教授が管轄しております。外科学講座それぞれの分野にとらわれず、若手は横断的に臨床経験が積める慶應とよく似たプログラムになっています。慶應外科で大教室に慣れ親しんでおられたので、外科全体で行われるカンファレンスも慶應の外科連絡会にどこか似ております。違和感なく参加しております。私は慶應病院での外科フレッシュマンの後、荻窪病院、埼玉社会保険病院(現在の埼玉メディカルセンター)で外科の基礎をご指導いただきました。呼吸器外科を専門にしていたから小林紘一教授にご指導いただきました。済生会中央病院呼吸器外科を経て、ミシガン大学でOringer教授のもと胸部外科臨床フェローとして肺癌、肺移植、食道癌などの文字通りの“general” thoracic surgeryを教えていただきました。帰国後は大学研究室で浅村尚生教授にご指導

学会を終えて 第16回 国際食道疾患会議を ウイーンで開催



慶應義塾大学医学部外科学教授
慶應義塾大学病院 病院長
外科(一般・消化器)

北川 雄光 (65回)

この度、2018年9月16～19日オーストリアウイーンにおきまして Society President として第16回国際食道疾患会議 (ISDE) を主催させて



いただきました。日本を離れた遠隔地での開催であり、プログラム構成以外には会長が一切関与できない特殊な状況下で、運営に大変苦労いたしました。お陰様で日本から265名もの皆様にご参加をいただき、過去最高の953名にご参加をいただきました。恒例となっており、国際食道疾患会議・日本食道学会ジョイントセッションでは、食道疾患治療に関する日本のリーダーの皆様、圧倒的に優れた技術をビデオでご披露いただき、多くの聴衆から絶賛をいただきました。また、今回は、食道胃接合部癌をテーマとして国際胃癌学会とのジョイントセッションを開催しました。私自身が務めさせていただきました会長講演では Controversies in Esophagology ~East and West, Esophagus and Stomach~ と題して、欧米とアジアの食道疾患研究の方向性を示し、食道・胃が

一体となった上部消化管学の概念を提唱させていただきました。また、井手博子先生、安藤暢敏先生からご提供を頂いた資料を元に、日本を発祥の地とするISDEの歴史を振り返りながらその将来像に関して私見を述べさせていただきました。会場となったウイーン大学は1365年に創立されたドイツ語圏最古の歴史を誇り、胃癌外科手術の父と呼ばれるTheodor Billrothが教鞭をとったことでも知られています。ポスター会場として使用された中庭のBillroth像の前では、多くの参加者が記念写真を撮る光景が見られました。Gala dinnerは荘厳なバロック建築のウイーン市庁舎で開催され、若手参加者にとっては国境を超えた貴重な交流の場となりました。本邦における消化器外科の父、中山恒明先生が創設されたこのISDEを、消化器外科学に所縁の深いウイーンの地で主催させていただけましたことは、食道外科医の一人としてこの上ない光栄と存じております。これも本学食道グループを立ち上げ、その発展に尽力された赤倉一郎先生、掛川暉夫先生、安藤暢敏先生、小澤壯治先生をはじめ多くの諸先輩の築いて来られた伝統の賜物であると存じております。今回の開催に際して多大なるご尽力を賜りました刀林会員の皆様にあらためまして心から感謝を申し上げます。



第20回 S N N S 研究会学術集會を終えて



浜松医科大学医学部外科第二講座
(消化器・血管外科学分野)
竹内 裕也 (71回)

平成30年10月10日、11日の2日間、東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井カンファレンスにおきまして第20回 S N N S (sentinel node navigation surgery) 研究会学術集會を開催させていただきました。第20回という記念すべき学術集會の機会を頂き大変光栄に存じます。

1999年11月27日に北島政樹先生が第1回学術集會を主宰されてからこの20年間に S N N S は大きく発展を遂げました。2010年4月から悪性黒色腫、乳癌において保険診療として S N 生検による縮小手術が可能となり、今や実地臨床では不可欠の手法となっております。また消化器癌、頭頸部癌、婦人科癌などの領域においても S N N S 理論を応用した個別化縮小治療の実用化が目前となっております。

今回のテーマは「S N N S を未来に継ぐ(つなぐ)」とさせていただきます。この20年間のわが国における固形癌に対する S N N S がここまで大きく発展できたのは、黎明期における諸先輩方の叡智と不断の努力に加えて、一つ一つの基礎研究、臨床研究の積み重ねによると考えます。本研究会

のこれまでの数々の業績をさらに発展させて未来に継ぐことが私の使命だと感じ、このようなテーマとさせていただきます。本学術集會では、S N N S 研究会代表世話人、井本滋先生より第20回を記念する特別講演を頂きました。また領域横断的な基礎研究、臨床研究のシンポジウムを組ませて頂き、刀林会の先生方から最先端の知見や将来展望をご講演頂きました。また本学術集會は北川雄光先生が主宰され

受賞報告

第30回 日本頭蓋底外科学会 優秀論文賞を受賞して

「Tamura R, Tomio R, Mohammad F, Toda M, Yoshida K. Analysis of various tracts of mastoid air cells related to CSF leak after the anterior transpetrosal approach. J Neurosurg. 2018;16:1-8.」



慶應義塾大学医学部
外科 (脳神経)
田村 亮太 (89回)

この度は「刀林」第112号に寄稿させて頂く貴重な機会を与えて頂き有難うございます。今回、私は第30回 日本頭蓋底外科学会にて、優秀論文賞を受賞させて頂きました。まず、本解析にあたり、吉田先生、戸田先生、富尾先生には多大なご指導を頂き、感謝致します。

た International Sentinel Node Society 国際学会との同時開催となり、海外からも多くの著名な先生方が参加され活発な討論がなされました。おかげをもちまして、国際学会と併せて300名近い参加者を得、盛会のうちに終了することができました。最後となりましたが、このような貴重な機会を賜りました S N N S 研究会 名誉代表世話人 北島政樹先生、代表世話人 井本滋先生に心より感謝申し上げます。また開催にあたり、刀林会の諸先生方より感謝しきれないほどの多大なご援助、ご高配を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

眺めたところ、特殊な側頭骨の乳突蜂巣を有する患者さんがおり、それが術後の難治性髄液漏に密接に関わる解剖学的タイプである可能性に気付きました。その後、図書館で錐体骨解剖の本を読み漁りました。驚いたことに最近の綺麗にビジュアル化された解剖の本ではなく、1980年代の古書にまさに私が探していたものと似た乳突蜂巣のイラストが描いてありました。錐体骨の乳突蜂巣だけでも15個以上に区分しており、そこに少しだけ、稀で特殊な蜂巣の存在が記載してあったのです。今後は、本解析により側頭骨の術前画像検査からハイリスク症例を分別することで、髄液漏に対する系統的な予防策の構築ができればと思っております。

Anterior transpetrosal approach (ATPA) は1980年代に河瀬先生の元、慶應脳神経外科で誕生し、頭蓋底外科を大きく発展に導いた世界に誇る手術法であります。様々な課題を克服し、より洗練されたアプローチとなったATPAにおいて重要な合併症の一つである術後髄液漏の発症頻度が過去30年間でほぼ変わらないという結果を知った事が、私が本解析を行ったきっかけになりました。本解析でCT画像を繰り返し

り返し吟味する事の重要性を改めて感じました。まさに貴重な生きた情報の山なのだと思います。また、過去の偉人たちの古書には、現代の様々な新規画像をも凌ぐ程、詳細な内容が記されており、そういった原点回帰の重要性も感じました。これからも、大変僥倖ながら頭蓋底外科の発展に寄与できる臨床・研究が行えるように精進致します。

今回の解析により、患者さんの臨床経過や画像を繰



第90回日本胃癌学会総会 収支報告

国立がん研究センター中央病院
副院長
片井 均 (61回)

収入の部

勘定科目名	金額	
参加費収入	会員参加費収入	19,770,000
	その他参加費収入	12,903,000
	評議員懇親会参加費収入	804,000
広告・出展料収入	プログラム広告料収入	1,768,500
	商業展示出展料収入	22,435,200
セミナー等共催金収入	セミナー共催金収入	24,516,000
	シンポジウム共催金収入	2,700,000
寄附金収入	寄附金収入	3,470,000
	受取利息収入	104
雑収入	プログラム頒布収入	314,000
	その他雑収入	1,322,760
	一般会計繰入金収入	6,000,000
収入合計	96,003,564	

支出の部

勘定科目名	金額	
学術集會準備費	プログラム等印刷物製作費支出	6,662,250
	企画関係費支出	4,385,797
	通信運搬費	405,512
	その他準備諸費支出	3,401,580
	会場使用料支出	24,730,425
学術集會運営費	設備・機材等関係費支出	9,344,903
	看板・ポスターパネル等設置費支出	4,969,730
	運営要員関係費支出	4,411,726
	会合・飲食関係費支出	10,159,145
	招待者関係費支出	13,748,664
	租税公課支出	3,302,093
	運営業務委託管理費支出	2,139,802
	その他運営諸費支出	6,304,287
	支出合計	93,965,914

学会口座返還金 2,037,650

会場：パシフィコ横浜
会期：2018年3月7日(水)～9日(金)

刀林賞を受賞して



慶應義塾大学医学部
外科 (小児)

狩野 元宏 (86回)

この度は、私の論文「AMH/MIS as a contraceptive that protects the ovarian reserve during chemotherapy」(Proceedings of National Academy of Sciences of the United States of America, 2017, e1688-) を2018年の刀林賞に選んで頂きまして、誠にありがとうございます。伝統ある刀林会の賞を頂けたことを大変光栄に存じます。ご審査頂いた選考委員の先生方、刀林会会員の先生方、そして研究をご指導下さいましたマサチューセッツ総合病院小児外科研究室の Patricia K. Donahoe 先生と、同研究室への留学の機会を下さり、本論文を刀林賞にご推薦下さった小児外科



閉経以前の「AYA世代」の女性に対する抗がん治療において、卵巣機能維持はがんサイバイバースリップ向上における重要な課題の一つです。我々は抗がん化学療法による卵巣機能障害のうち、原始卵胞の過剰動員による卵胞の早期喪失に着目し、まずMISの投与によって原始卵胞の動員が完全に抑制され、避妊薬としても利用できることを示した上で、MISがカルボプラチン、ドキソルビシンまたはシクロフォスファミドとの同時投与により原始卵胞を有意に温存することを報告し、妊孕性温存を希望するAYA世代の女性が患者への新たな選択肢を提示しました。

私は2018年5月に留学より帰室しました。この経験を活かし、より多くの知見を世界に発信できるように、引き続き慶應においても研究を続けていきたいと考えております。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

刀林奨励賞を受賞して



慶應義塾大学医学部
外科 (一般・消化器)

大島 剛 (83回)

この度は、刀林奨励賞という伝統と大変栄誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。本研究に取り組む環境を与えて下さった、北川雄光教授をはじめ、慶應外科の諸先輩先生方、また

今回の受賞にあたり、本論文を御評価いただいた選考委員の先生方、および教室関係者の皆様にはこの場をお借りして、心より感謝申し上げます。今回、受賞した論文は Cell Press が発行する Molecular Therapy 誌に標題 "In Vivo Delivery and Therapeutic Effects of a MicroRNA on Colorectal Liver Metastases" として 2017年に掲載されました。

刀林奨励賞を受賞して



足利赤十字病院
鈴木 佳透 (89回)

この度は伝統ある刀林会の刀林奨励賞をいただき、身にあまる光栄に存じます。今回の受賞にあたりご

指導いただきました北川雄光教授、岡林剛史先生に厚く御礼を申し上げます。このたび私が受賞した論文は "Annals of Surgery" に掲載された "Comparative of Preoperative Inflammation-based

近年、抗腫瘍治療に対して新しい治療法として、マイクロRNAやDNAメチル化などをターゲットとしたエビジェネティクなアプローチからの研究が盛んになっていきます。本論文ではマイクロRNAを大腸癌肝転移モデルマウスに投与し、マイクロRNAの全身投与による癌進展の抑制効果が *In vivo* で確認されたことを報告しました。マイクロRNAは RNase やエクソソームなどによる分解作用のため生体内ではきわめて不安定です。そのためマイクロRNAの投与による治療は非常に困難とされてきました。本研究では、生体内でのRNA分解を克服するために、金属イオンを核とし、その周囲に脂肪鎖やコレステロールとともにマイクロRNAを付着させたナノパーティクルを用いてマイクロRNAを大腸癌肝転移モデルマウスに全身投与することにより、「腫瘍選択的」かつ「安定的」なマイクロRNAのデリバリーシステムを実現し、さらにマイクロRNA投与による転移性腫瘍の抑制効果が確認されました。

高齢化社会と癌患者の増加に伴い、癌の転移に対する新しい治療法の開発は急務であります。本研究では、癌治療における次の新しいアプローチとして期待されている、核酸医薬 (マイクロRNA) を用いたエビジェネティクな手法による新しい抗腫瘍治療の可能性が示されたと考えられます。今後とも、がんの転移に対する新しい切り口からの治療方法の開発に向けて精進して参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

Prognostic Scores in Patients With Colorectal Cancer" です。本研究では新規炎症性スコアSISの大腸癌の予後診断における有用性を証明し、病理病期などと独立した予後因子であることを明らかにしました。近年炎症と癌の関係性は注目されるトピックであり、SISを構成するリンパ球単球比の重要性は癌とマクロファージの密接な関連を示唆し、さらなる基礎研究へつながる可能性があります。また、本研究では炎症性スコアの比較を新しい統計解析を用いて行っています。炎症性スコアは各種癌でその有用性が報告されていますが、数多くの炎症性スコアが存在し、その優劣は不明でした。本研究で用いた時間依存性ROC曲線による解析は視覚的に、かつ統計学的な堅牢性をもつて予後因子を比較することができる新規の解析手段であり、その有用性を示したという点も本研究の重要性と獨創性のある部分です。

今回の研究は慶應義塾大学で行った臨床研究の結果をまとめたものですが、他施設での結果も追加し、炎症性予後スコアの有用性をさらに解明していく予定です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

地域便り

和歌山市友田市



医療法人明星会
星野胃腸クリニック
理事長・院長

星野 好則 (84回)

和歌山市は紀伊半島にあり、人口36万人の都市です。御三家の一つである紀州徳川家の城下町であります。大阪から電車で1時間程度の距離にありますが、高齢化の波が押し寄せており、在宅地域医療のモデルケースともなる都市です。



年齢が多いことに驚きまし。診療では亡き父が消化器と乳腺が専門であったのですが、大学で腸班や乳腺の先生方にご指導を頂いたことが今の診療を支えていると思います。何より和歌山で診療所院長として助かったことは外科学教室による教育でありました。この研修システムは将来的に開業医には必要最小限の素養が盛り込まれた研修でありました。消化器外科医で消化器内視鏡専門医をもつ医師は減少傾向にあると思われませんが、一般・消化器外科では診断から治療まで

帰室報告



慶應義塾大学医学部
外科 (呼吸器)
朝倉 啓介 (81回)

平成30年8月に3年半の国立がん研究センター中央病院出向より帰室いたしました。同院は長らく肺がん手術件数全国1位を継続している本邦肺癌外科のメッカであり、そのスタッフの一員として多くの胸部悪性腫瘍手術を執刀できたことはかけがえのない経験でした。赴任直後は先輩スタッフの手術時間の短さに面喰いしましたが、浅村教授門下である渡辺俊一科長の根気強いご指導の下、1年半ほどかけてそのスピード感覚に慣れることができました。また在任中は、胃外科の片井均先生(61回)、乳腺外科の木下貴之先生(67

回)、食道外科の小柳和夫先生(71回)、大腸外科の落合大樹先生(77回)を始めとする刀林会の先生方に多大なるご支援をいただきました。例えば、小柳先生にお誘いいただいた若手刀林会員と手術室スタッフの定期的懇親会をきっかけに、新参の私がアットホー

ムな雰囲気です手術ができるようになりました。また、落合先生のお誘いをきっかけに国家プロジェクトである「血清マイクロRNAによる早期肺がん診断プロジェクト」を担当できることになりました。同院は医局に所属しない医師も多く、彼らが医局の支援なしにキャリアを築いている姿に大いに刺激を受ける一方で、互いに支え合いながら長期的に人材を育成できる医局の良さ、有難さも再認識できた3年半でした。私自身は後輩の面倒を十分にみる前に帰室することになりましたが、現在、築地で奮闘している若手刀林会員の先生方にはこの場をお借りしてエールを送りたいと思います。

帰室報告



慶應義塾大学医学部
外科 (一般・消化器)
入野 誠之 (82回)

平成30年7月より北川雄光教授のご高配にあずかり教室に帰室いたしました82回生の入野誠之と申します。私は初期臨床研修制度のない最後の年にあたる平成15年に卒業し、外科学教室へ入局いたしました。大学院でレジデント・チーフとして北川教授、竹内裕也教授をはじめ様々な先生方から臨床・研究のご指導を

賜りました。その後ポストチーフとして済生会横浜市東部病院(長島敦先生)へ出張、初めて自らの責任において手術を執刀し、一人前の外科医としての最初の一步を踏み出しました。2年間外科医としての仕事に没頭した後、胃癌外科の専門教育を受けるためがん研有明病院胃外科(佐野武先

生)へシニアレジデントとして赴任、2年間で300例を超える胃癌手術に参加し、在任中には比企直樹先生の御指導のもと内視鏡外科技術認定も取得いたしました。その後はスウェーデンのカロリンスカ大学病院上腹部外科へ腹腔鏡下胃切除の指導のため渡欧、北欧の外科医とともに胸腔鏡・腹腔鏡手術を鍛錬しつつ謳歌したスウェーデンでの留学生活は、私にとって人生観が変わるほどの素晴らしい経験となりました。2年間の留学を終えた後は、JCOG胃がんグループ代表でもある寺島雅典先生のご厚情で静岡県立静岡がんセンター胃外科に迎え入れていただき、胃外科スタッフとして数多くの手術を行いました。レジデントの専門教

しましては、①当科の手術件数増加、②ハイボリュームセンター同等の手術教育、③慶應ならではのユニークな臨床研究、を掲げたいと思います。また末筆ではございますが、慶應病院フレマン時代にご指導いただいた外科5科の先生方、日本鋼管病院外科、さいたま市立病院外科の先生方、そしてこの度の出向の機会を与えて下さった浅村教授と呼吸器外科の先生方、帰室にあたりご高配いただきました外科学教室の北川教授、黒田教授、志水教授に厚く御礼を申し上げます。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りたく何卒宜しくお願い申し上げます。

留学報告



Massachusetts General Hospital

高橋 信博 (88回)

2018年5月より黒田達夫教授のご高配により米国 Boston の Massachusetts General Hospital, Pediatric Surgical Research Laboratory < Research Fellowとして留学させて

室では近年 M I S の卵巣癌に関する作用を報告して以来、卵巣癌の研究が盛んであり、私はこの卵巣癌に対する CRISPR-Cas9 技術を用いた遺伝子治療に関する研究を行っております。

お世話になり、日本の外へ出て改めて日本の良さ、慶應や刀林会の強いつながりを身に染みて感じております。

留学報告



Massachusetts General Hospital

菊池 弘人 (86回)

私は2018年4月より米国ボストンのマサチューセッツ総合病院放射線腫瘍学 Edwin J. Steele Laboratoriesにて研究留学をさせていただいております。

先生、茂田浩平先生、呼吸器外科より羽藤泰先生が留学され、慶應とのつながりを大切にされています。

先生、茂田浩平先生、呼吸器外科より羽藤泰先生が留学され、慶應とのつながりを大切にされています。

診療体系グループ紹介

血管班



慶應義塾大学医学部 外科 (一般・消化器)

尾原 秀明 (72回)

一般・消化器外科血管班は昭和30年代、まだ本邦において血管外科の認識が普及していない黎明期にスタートしました。

切除を伴う高難度消化器外科手術、さらには肝移植手術にも携わっており、これまで小児・成人のすべての肝移植手術に関わってきました。

趣味

トライアスロンについて



帝京大学外科准教授

新見 正則 (64回)

今から思うと吉日がやって来た。10年前に心臓外科が僕の担当する血管外科の手術をすべて行うことになった。その日から大学院にほぼ専念できる環境になった。当時は血管外科、東洋医学、移植免疫学の3講座の大学院の指導教授であった。そして365日24時間緊急手術に備えて待機していた10数年が終了した。そこで50歳から筋トレを始めた。これは漢方の師匠である松田邦夫先生が日頃「漢方だけでは治らない。運動をしなさい!」と

言われていたことが根底にある。そして51歳から金槌親爺が水泳に挑戦し、52歳でオリンピックディスタンスのトライアスロン(スイム1.5km、自転車40km、ラン10km)を完走した。凝り性な僕は、その後日本で最長のトライアスロンに挑戦したくなり、なんと1年後の53歳時に、佐渡トライアスロンタイプA(スイム3.8km、自転車190km、フルマソン42.2km)を14時間18分で完走した。そして今でも趣味としてトライアスロンの練習は続けているし、時々オリンピックディスタ

なでしこ外科医



Sanofi Global Safety Officer

半谷 Hoyer 七重 (67回)

日本を離れて19年。在住するBostonでおりし Association of Women SurgeonのMeetingが開催されている際に、なでしこ外科医の原稿依頼を頂きました。外科医を辞めてからだいぶ時間がたっており、何が書けるか不安であります。が思うままに書かせていただきました。思いま

も、父に届く刀林を通じて向井先生が外科医となったこと、その向井先生が縁あって我が家を訪問した時のことを母からとてもCharmingな先生と聞いていたことから、女子でもできるんだ、と心に留めておりました。私が医師になり、昭和の時代。まだ、外科の女医は数少ない存在でしたが、やりたいと思う

ことをやらないと悔いが残ると外科の道に進む決心をしました。大学卒業前の初冬に当時研修医担当であった寺本龍生先生とお会いする時間を頂いた際、歓迎の言葉を頂き嬉しく帰途に着いたときのことはいまでも鮮明に覚えております。昭和最後の外科研修医のなか、女医は私一人でした。自分の目標として、女性であることに甘えずに、女性であることを忘れない(優しい)外科医になろうと決心しました。これは父の、女の子は優しくなくてはいけない、という教えに従ったものです。実行できていたかどうかは別です。当時は2人一組で各部門をまわっていたので、相方に迷惑をかけないように頑張ったつもりですが、相方

はもつと頑張ってくれていてと思います。同期の仲間をはじめ、指導してくださった先生方、病棟関係の方々には深く受け入れてくださり、大変だったこともあり、大変だったことでもありますが今ではとてもよい思い出であり感謝の気持ちでいっぱいです。患者さんからも励ましのお声を頂いたり多くのことを学びました。専攻した呼吸器外科では同期3人(柿崎徹先生、澤藤誠先生、山本達也先生)と忙しく臨床と研究に携わりましたが、この頃は普通にやっていたのはとてもかなわないと思います。ちょっと背伸びして頑張っていたように思います。それでも研究室(教室)の先生方は熱心に指導してくださり、臨床と研究に充実した生活でした。出向後も多数の手術と臨床経験(池田高明先生の肺癌手術、加勢田静先生の下で胸腔鏡手術と)、を得ることができたことは辛いときもありましたが充実した日々でもありました。一方、私生活はというと家族にはかなりサポートしてもらっており、甘えておりました。小林紘一先生、川村雅文

先生の勧めで留学をさせていただき、外科医で培った体力と気力で頑張りつつ時には息抜きを充実した生活を送る中、現在の夫と知り合いました。その後数年研究を続けましたが、夫が転職でCaliforniaからNew Jerseyに行く事になり、1年の別居生活の後私もNJに移り2007年よりフランスの製薬会社に勤務、Global Pharmacovigilance という部門におります。直接医師と接触することはほとんどないので皆さんには馴染みのない職種だと思います。5年ほど前からGlobal Safety Officerという職に就き、いくつかのOncology Productsを担当しています。臨床試験に入る前の段階にあるProjectsからすでに市販されている薬品までの薬品を担当し日々忙しくしております。新しいScienceを学び、担当しているProducts/ProjectsのSafety Signalをいち早く見つけ、分析したり、Benefit/risk balanceの評価、いろいろな資料(Protocol, Periodic reports, Clinical study reportsなど)を書くことが仕事の多くを占め、患者さんを中心にBenefit/riskを考えることは外科医の仕事とはかけ離れています。医師としての基本と

思っております。社内のお他部門、各国からの問い合わせ、Health Authoritiesの突如のRequestにこたえていきます。これらは提出期限も短く、外科医として訓練されたいつでも臨機応変に対応できる力の発揮どころでもあり経験が大変役に立っております。1年ほど前も徹夜でDataを解析しReportを書き上げたり、先日も飛行機での仮眠後一日中会議に出席したり、まだまだ若い!などと思ってしまうかもしれません。いつでも緊急に対応できるよう、やれることはやってみよう性格です。どんな事にもFlexibleにやさしさをもって対応するよう心がけています。会社には多数の国々の人が働いており、また世界中の国々と交流があります。社内には女医も多数働いておりLeaderのPositionにいる人はたくさんいます。重要なDecision Makerであったり、Meetingでも積極的に意見を言う一方、肩肘張った感じはまったくなく、FriendlyやCharmingです。男女ともに責任感が強く熱心でお互いに協力し合う気持ちの強い人の集まりです。仕事はしやすいです。民族、宗教、文化、言語の違いが人々が集まるSmoothに行かないこともありますが、そんな時はお互いを尊重しつつ自分の意見も言うことでうまくいくよう気をつけています。かりかりしてはよい仕事はできませんし、人生がつまらなくなってしまうので、楽しく仕事ができれば幸せです。「大らかにいなさい」、とは私が留学する時に送り出してくださいました。宮沢直人先生のお言葉で父の優しくという言葉同様、心に留め実行するよう心がけています。外科医を離れて久しくなりましたがSpiritはいつも外科医でありたいと思っております。慶應の外科学教室で学んだことは一生の宝です。医師として直接患者さんを治すことはできませんが、外科医で学んだ経験を生かし、今の仕事を通じて、医療、医学に貢献したいと思っております。私生活では、昔の私を知る方たちには信じがたいと思いますが、家事一般は得意です。料理、特にお菓子作りやパン作りに目覚めました。手を使うことが好きなのも熱中するたちであり、研究するたちです。失敗は検証するようにし、いろいろ科学しています。庭仕事にも精を出した頃がありましたが、ほとんどが庭に出没する(棲んでいる?)動物達に食べられてしまうので止めました。目下の楽しみは旅行、ski (downhill/cross country), hiking/walking, 乗馬です。乗馬は車で1分のところ馬場があり、最近Welsh Pony (o+)を購入、毎日乗ることはできませんが世話にはせつせと毎日通っています。既の掃除もします。なでしこJapanのやまとなでしこは「かわらなでしこ」、花言葉は大胆、才能、純愛。女性外科医にびつたりではないでしょうか! 外科学教室の女医の皆さんがますます美しく大胆に咲きつづけますようYaleを送ります。また男性の先生方にはこれまでのご理解ご協力に感謝するとともに、これからなでしこ外科医をよろしくお願いたします。

近況報告

43〜44回生



宮澤 直人 (43回)

日本対がん協会が無料が
ん電話相談(私は肺癌中心
と定年まで居りました平塚
市民病院で緩和チームの一
員となつての回診を、それ

ぞれ2回/月でやっており
ます。どちらもあり甲斐の
ある仕事で、お蔭さまで最
新の医療には遅れずに済ん
でいます。脊柱管狭窄症が
MRI上は立派なのがあり
ますが、臨床上は慢性痛に
よる負のスパイラルでロコ
モ症候群から寝たきりに
まっしぐらの診断を受け、
そうはならずと専ら朝夕の
散歩で持続可能な筋力アッ
プを励んでいます。他は音
楽、読書、思索を楽しんで
いる時間が多いです。



世界脳神経外科学会
終身名誉会長
神野 哲夫 (44回)

若い先生方、頑張ってください
44回生の小生も随分年を
取りましたが、皆様にはお
元氣でお過ごしでしょう
か。
小生、普通部以来約20年
慶應に所属後、藤田医科大

学に籍を置いてきました。
この間、慶應を外から見る
チャンスも頂きました。や
はり、慶應は福澤先生の創
立精神を力強く引き継がれ
ていると実感しています。
脳外科も変わりました
ね。若い世代の方々も、ま
さかコンピュータ手術の
みされているとは思いませ
んが、司馬遼太郎やゲーテ
は言っています。「私の主
治医はまず宗教を勉強し、
そして哲学を勉強し、それ
から医学を学んだ人になっ
て欲しい」と。我々の職業
は大変ですね。
どうぞ、今後も外科系、私
学をリードされんことを期
待します。



丸田 守人 (44回)

大病院開院以来31年間
お世話になった藤田保健衛
生大学を退任したのが、平
成16年でした。関連病院(三
恵会服部病院)に勤めてす
でに15年になりました。全
麻の手術も含めて外科診療

を月曜から金曜まで一生懸
命に頑張っています。平成
12年に阿部令彦教授が
設立した日本・チェコ外科
シンポジウムのお手伝いを
続け、平成24年NPO法人
国際医療連携機構を同級生
神野哲夫教授が立ち上げの
お手伝いをしたり、平成28
年には日本臨床肛門病学会
を設立のお手伝いをしてい
ます。慶應義塾卒業50年以
来、塾の催しに参加して塾
歌や応援歌を歌うと涙が出
て来ます。妻、幸子も元氣
で、孫は高2を先頭に3人
です。



遠藤 昌夫 (44回)

足掛け20年にわたって慶
應に勤務した後、平成8年
〜21年までさいたま市立病
院に勤務しました。市立病
院の近代化に取り組み、院
長就任の翌年には開設後初
めての黒字化と以後の黒字
経営を続けることが出来ま
した。退職後は、名誉院長
として小児外科の診療に協
力しています。

さいたま市では、医療も
のづくり都市構想推進委員
会委員、ものづくりフォー
ラムのプロデューサーとし
て、小児外科医療器具の開
発促進を担っています。ま
た、厚労省の関東信越厚生
局指導官として医療機関の
保険請求審査・指導を行っ
ています。
生業としては、日新製鋼
(株)の本社診療所の所長・
産業医として週4日勤務
し、本社と傘下企業5社の
健康管理を担っています。
現役時代に開発して、日
本、米国、EUの特許を取
得した小児の腹腔鏡下鼠径
ヘルニア根治術用器具の販
売促進、講演、手術指導な
どに携わり、直近ではベト
ナムでの手術指導、国営T
V放送での紹介を機に同国
への輸出が開始されまし
た。



木曾 一誠 (44回)

定年で心臓外科医を辞し
て14年近くなる。高齢者医
療を7年間、その後「宇都
宮記念病院・総合健診セン
ター」で予防医学の世界に

いる。健診では他の病院/
クリニックの診療状況も見
える。過度な医療も多く複
数科に通う人は毎日20種類
以上の投薬(ポリファーマ
シー)の実態は諸外国では
聞かない。原因の一つは実
は医師過剰と思っている。
医学部受験では女性差別問
題に端を発し、公平な判定
が求められている。さらに
受診者より医療側の幸せを
求める医師が増えれば、徒
弟制度の残る外科系はまず
まず厳しい状態になるので
はとわたしは憂いている。



青木 亮一 (44回相当)

傘寿を越えて体力・氣力
が低下し転職にも限界が見
えて来た。従って残念であ
るが30年間ひたすら走り続
けた開業医を一年前に辞
めました。家庭医として信
頼されていたのでその絆を
断つのは大変な決心を要し
た。血の通った医療器械も
処分し楽しく働いた日々を
回顧している。余暇の利用
が下手だったので人間の
成長せず見聞の少ない退屈
な俗物なっていた。余生は
囲碁を始め別の新しい宇
宙を体験したいと思ってい
ます。



吉野 肇一 (44回)

この3月、半世紀一緒に
過ごした妻が黄泉の国へ旅
立ってしまいました。乳がん
初回治療14年後に再発、以
後5年強という長い経過で
この日が来ることは分かっ
てはいたものの寂しい限り

です。乳腺班諸氏には大変お
世話になり、誠にありがとう
ございました。伴侶を失うこ
とは人生最大のストレスと
何かに書いてありましたが、
まさにそのとおり。その半
年後からは次女一家が引ッ
越してきてくれて同じ屋根
の下となり、事態はだいぶ
改善されたものの、9か月
経った今でも非日常から脱
出できないでいます。
自宅近くの上板橋病院で
週3日、ドック、内科・外
科外来を担当、また慶應義
塾定年退職者の会(慶應風
月会)会長を務めています。



さいたま市では、医療も
のづくり都市構想推進委員
会委員、ものづくりフォー
ラムのプロデューサーとし
て、小児外科医療器具の開
発促進を担っています。ま
た、厚労省の関東信越厚生
局指導官として医療機関の

この3月、半世紀一緒に
過ごした妻が黄泉の国へ旅
立ってしまいました。乳がん
初回治療14年後に再発、以
後5年強という長い経過で
この日が来ることは分かっ
てはいたものの寂しい限り

新発売
献血ヴェノグロブリンIH10%静注
0.5g/5mL, 2.5g/25mL, 5g/50mL, 10g/100mL, 20g/200mL
Venoglobulin® IH 10% I.V. 0.5g/5mL, 2.5g/25mL, 5g/50mL, 10g/100mL, 20g/200mL
製造販売元 一般社団法人 JB 日本血液製剤機構
VG-2018年7月作成

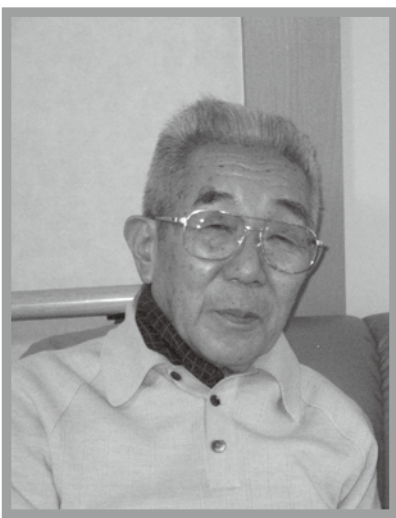
カルバヘナム系抗生物質製剤
フィニボックス
点滴静注用0.25g・0.5g
キット点滴静注用0.25g
製造販売元 [資料請求先] シオノギ製薬
大阪府中央区道修町3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734

追悼

故樋口公明先生 (28回) を偲んで

社会保険診療報酬支払基金埼玉支部医療顧問 (JCHO埼玉メディカルセンター名誉院長)

細田 洋一郎 (50回)



懐かし
く思い
出され
ます。
昭和
58年9
月30日
に国立
療養所
神奈川
病院の
院長で

私が慶応義塾大学医学部
外科学教室の6年間のト
レーニングを終え、昭和52
年に社会保険埼玉中央病院
(現JCHO埼玉メディカ
ルセンター)に赴任したと
きに樋口公明先生は副院長
でした。外科部長は椎名栄
一先生でしたので、チーフ
出張後はお二人から外科の
手ほどきを受けました。毎
日のように手術をし、手術
が終わった夕方からはお酒
を飲みながら、今日の手術
の振り返りをする毎日とし
た。

外科ならびに胃の外科で
大変ご高名な先生で、学
問、手術をご指導いただい
たのは言うまでもありませ
んが、公私ともに本当にお
世話になりました。私のリ
サーチのことも心配してく
ださり、3か月間という長
きにわたり臨床を離れて
オートラジオグラフィの
勉強に千葉の放射線医学研
究所に行かせてくださいま
した。

お酒もお好きで、酒豪で
いらつしやいました。夕方
のオフデューティーの時間
になるとお呼びがかかり、
副院長室でウイスキーをご
馳走になりながら先輩外科
医のお話しを伺い、外科医
のフィロソフィー、人間と
しても薫陶を受けたことが

栄転されましたが、私は樋
口先生が築かれた外科でそ
の3年後(昭和61年)に外
科部長、平成4年に副院長、
平成18年から院長となり、
これも一重に樋口先生の背
中を追ってきたお蔭と感謝
しております。
とにかく、何事にも熱心
で根気がよく、その努力に
はいつも敬服していまし
た。当時は現在のように猫
も杓子もPCという時代で
はなく、やつとマイクロー
ンビューターが出てきた時
代でした。それをいち早く
購入し、使いこなし、ご自
分のデータを解析し学会で
ご発表されておられまし
た。常に新しい知見を求め、
追及していく姿勢に常々感
服していました。



外科医、院長をリタイ
ヤー後も奥様の介護をな
さっておられるお手紙をい
ただき、優しい先生のお姿
が目に映りました。
92年の永きにわたり本当
にご苦勞様でした。ゆっく
り、お休みください。そし
て、本当に有難うございま
した。

中村康孝先生急逝の訃報
が届いたのは、2018年
6月27日私が東京出張中
の事でした。あまりに突然の
ことで茫然自失、数年前に
軽い脳出血を患われりハビ
リに専念された時期はあり
ましたがまた診療に戻られ
て、少々肝臓が弱っている
もののお元気でいらつしや
ると伺っておりましただけ
に、なかなか心の整理がつか
きませんでした。ご自身の
事はあまりお話にならない
先生でしたので、実はご専
門の肝臓で自ら手術加療を
模索しながら必至に治療さ
れておられたことを知った
のは、翌朝東京から戻りそ
の足で自宅に駆けつけた
後の事でした。

私と中村先生は同じ福井
県越前市で父同士が病院を
開業していた事もあり子供
の頃から存じ上げてはおり
ましたが、医師になってか
ら初めてお会い
したのは、私が
1986年に父
の病院を継承す
るために地元
戻って程なくし
た頃でした。同
じ慶應一般・消
化器外科出身
で、奇しくも二
人とも阿部令彦
名誉教授にご媒
酌をお願いして
いたこともあつ
てか、それから
というものの、当
院での手術をご
指導頂く一方、
先生の病院での
全麻手術に度々
声をかけて頂

き、時には術者までやらせ
て頂きました。そして術後
はご自宅に招待頂き、美味
しいお料理とお酒を頂きな
がら、手術、診療以外にも、
病院経営から地域医療の在
り方、更には慶應外科での
思い出話まで語りながら深
夜まで続く宴は、私にとつ
ては正に開業の辛さを忘れ
られる至福のひとつでした。
私が慶應一般消化器外科
に在籍していた当時、福井
出身とわかると必ず中村康
孝先生のお名前が上がり、
『Annals of Surgery』を片
手にアメ車トランザムを乗
り回していた伝説的な先生
としてインプットされてい
ました。が、地域の中核病
院である中村病院を継承さ
れてからの先生は、福井の
ような田舎でも最前線の医
療を提供したいという強い
信念から、地域医療に全身
全霊を注がれ、全身CTや
MRI、ESWL等の高額
機器を次々と導入、困難な
手術でも安易に紹介はせ
ず、島津元秀先生(53回)
を始め慶應から先生方をお
招きしてでもやり遂げてい
ました。更に近隣で手薄

追悼

故中村康孝先生 (51回・享年71歳) を偲んで

医療法人池慶会池端病院 理事長

池端 幸彦 (59回)

だった循環器分野でも、大
変なご努力で優秀な循環器
医を多く招聘し、この地域
で本格的な循環器センター
を作りたいという夢を築き
そうに語られていたことを
昨日のこのように思い出
します。いつしかほとんど
夜の外出も控え、それこそ
24時間365日常に患者様
のことを考え、昼夜を問わ
ずふらつと病棟に顔を出さ
れる先生のお姿は、もう一
つの伝説となっていました。
お酒をこよなく愛された
先生でもありましたが、最
近は体調の事もあり自重さ
れておられたようでした。
写真は、2014年11月、
中村先生(前列左端)と筆
者(前列右端)が、福井で
開催された学会にいらした
諸角英先生(53回・前列
中央)や尾澤巖先生(60
回・後列左から二番目)方
との懇親会のお席での一コマ
ですが、とにかく慶應を
こよなく愛されていた先生
が、この時ばかりは久しぶ
りの外でのお酒と窓との
語らいを楽しまれていたお
姿は、今でも忘れません。
地域医療にかける先生の
思いが沢山詰まった素晴ら
しい新病院が昨年グランド
オープンされ、まだまだご
活躍が期待されていただけ
に、地域にとっても私にと
つても甚だ残念でなりま
せん。ただ幸い、ご子息
ご令嬢とも医の道に進まれ
ておられますので、そのご
遺志をしっかりと継がれるも
のと確信しております。こ
こに改めて先生をご存じの
刀林会の先生方と共に、中
村康孝先生のご冥福を心か
らお祈り申し上げ、私から
の追悼の言葉とさせていただきます。



追悼

故露木晃先生(52回)を偲んで

山王メディカルセンター

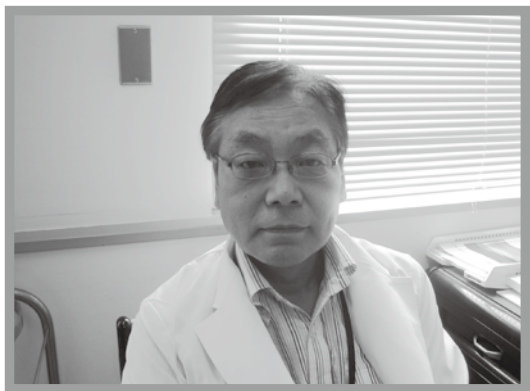
奥田 誠(52回)

それは突然の事で誰しもが驚いた、中でも一番驚いたのは君自身だろう、平成三十年六月二十五日曜朝のことだった。幾多の疾病や外傷にも負けず古稀も通過してきた君はその死を予想すらしなかっただろう。昭和四十二年日吉に入り一年おきにストがあつたそんな学生生活から始まり君と共有してきた時空は五十一

年に及ぶ。学三の時体育会の雑用に途方にくれた時、君の優しさに触れたはじめだった。外科に入局し四年目に腸班に二人で入った時面接をしてくれた馬場正三

先生(36回)はすでに浜松に赴任され小平進先生(42回)はまだがんセンターとの掛け持ちで篠原央先生(50回)が班を實質仕切っていた。チーフ学年も終わるころ君のバルセロナでの学会発表にぶら下がり久保田哲郎先生(50回)と三人で地球を東へ東へと一周したことは思い出深い。太平洋を横断しポストンで村山信篤先生(48回)を訪ね、ニューヨークで阿部令彦先生(30回)のお供をし、大西洋を渡ってロンドンで寺本龍生先生(47回)に会い、

で小児科の加藤俊一君に会い、旅の最後にバルセロナに入った。君の学会発表のことは忘れたが、君と久保田さんの飲みっぷりには驚いた。街でワインと買って買ったらお酢だったり、マジョルカ島でフラメンコを見た深夜に酔っ払いの三人を乗せてくれる車はなく歩いて帰ったり、愉



快な思い出でいっぱいだ。初めてのスタッフ出張で君は伊勢慶応病院に行った、尋ねてみると当時小学生のご長男が学校でミカンをおみかんと言っただけかわれると目を細めて楽しそうに話していた。やがて東京に戻り信濃町の隣の東電病院で職種を越えた多くの仲間から慕われる日々を送り、平成二十三年三月十一日の東日本大震災を東京電力福島第二原子力発電所の診療所で迎えた。事故の惨状を言葉少なく語った君が、興味本位で訪れ立ち去るボランティアの医師に怒っていたことが忘れられない。一本気でありながらはにかみ屋の君の一面を思い起こさせる。五月のクラス会を欠席した君に電話して元気な声を耳にした一か月後にあまりに早い別れが訪れた。弱者に優しく、面倒見がよく、皆に愛され、酒をこよなく好んだ君は、足早に去っていった仲間とこの駄文を肴に天上で酒を酌み交わしているのだろうか。



まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。

astellas
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

すべての革新は患者さんのために

CHUGAI 中外製薬
Roche A member of the Roche group

AVASTIN[®]
bevacizumab

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

日本標準品分類番号 874291

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF注1)ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品注2)

薬価基準収載

アバステン[®] 点滴静注用 100mg/4mL 400mg/16mL

AVASTIN[®]
bevacizumab

ペバシズマブ(遺伝子組換え)注

注1) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)
注2) 注意-医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

ホームページで中外製薬の企業・製品情報をご覧ください。
https://www.chugai-pharm.co.jp/ 2017年10月作成

製造販売元 中外製薬株式会社 〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

外科学教室 新入室者紹介



国立病院機構埼玉病院
浅野 竜太
(80回相当)

平成30年度より刀林会に入会いたしました。昨年まで女子医大東医療センターに勤務しておりました。今年4月から国立埼玉病院心臓血管外科に勤務しております。宜しくお願ひ申し上げます。



済生会横浜市東部病院
三木 隆久
(83回相当)

で初期研修を行い、国立病院機構東京医療センター外科で後期研修後、心臓血管外科でスタッフとして3年働きました。その後千葉北総病院救命救急センターに戻り、外傷治療の中でも特に胸部心大血管外傷を専門にしております。平成30年4月から済生会横浜市東部病院心臓血管外科で働いております。まだまだ未熟者ですが、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願ひ申し上げます。



平成30年度刀林会に入会させていただきます。印旛沼のほとりにある千葉北総病院救命救急センター等

95回生



足利赤十字病院
原 良輔
(95回相当)

この度、外科学教室に入室させていただきます。現在は足利赤十字病院で後期研修をさせていただいております。精一杯努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ致します。

出身高校：城北学園高校
出身大学：東京慈恵会医科大学
クラブ・趣味：野球部



稲城市立病院
角田 潤哉
(95回)

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました。95回生の角田潤哉と申します。現在、稲城市立病院で諸先輩方の御指導のもと研鑽を積ませていただいております。将来の外科医療を支えられるよう日々精進して参りますので、御指導御鞭撻の程宜しく御願ひ申し上げます。

出身高校：慶應義塾高等学校
出身大学：慶應義塾大学



那須赤十字病院
大坪 恭子
(95回)

この度入室させて頂いた大坪恭子と申します。手術が好きで、手術に携わり続けたいと思い外科医を志しました。まずは日々の仕事に全力で取り組みます。今後共ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

出身高校：盛岡第一高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：剣道



永寿総合病院
船石 耕士
(95回)

この度、外科学教室に入室させて頂きました。95回生の船石耕士です。研修1年目を足利赤十字病院、研修2年目を慶應義塾大学病院にて後期研修をさせていただいております。研修医から専修医になり戸惑うこと・出来ないことも多いですが、ひとつひとつできることを増やしていきたいと考えております。今後とも御指導御鞭撻のほど何卒よろしくお願ひいたします。

出身高校：私立武蔵高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：サッカー部、スポーツ観戦



公立福生病院
大杉 頌子
(95回相当)

この度慶應義塾大学外科学教室に入室いたしました大杉頌子と申します。国立病院機構埼玉病院で初期研修終了後、現在は公立福生病院で外科医としての研鑽を積み、非常に充実した毎日です。至らぬ点多々ありますが、日々精進していく所存です。ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひいたします。

出身高校：晃華学園
出身大学：東京女子医科大学
クラブ・趣味：弓道部、茶道、料理



練馬総合病院
西村 英理香
(95回相当)

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました。西村英理香と申します。現在、練馬総合病院で後期研修をさせて頂いております。諸先輩方から熱心にご指導を賜り、日々充実した外科研修を積むことができっております。至らぬ点多いかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

出身高校：筑波大学附属高等学校
出身大学：東京慈恵会医科大学
クラブ・趣味：空手



浜松赤十字病院
鈴木 嵩弘
(95回)

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました。95回生の鈴木嵩弘と申します。現在、浜松赤十字病院で修練を開始し、教室の諸先輩方から日々温かいご指導を頂いております。精一杯精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

出身高校：慶應義塾高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：端艇部



日本鋼管病院
山口 諒
(95回相当)

本年度外科学教室に入室させて頂きました。山口諒と申します。現在、日本鋼管病院で外科修練を開始し、様々な経験をさせていただいております。まだまだ学ぶべきことが多く、ご迷惑をお掛けしますが、日々学ばせていただきますのでご指導のほどよろしくお願ひいたします。

出身高校：本郷高校
出身大学：長崎大学
クラブ・趣味：テニス部



静岡赤十字病院
中村 公彦
(95回)

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させていただきました。中村公彦と申します。足利赤十字病院で初期臨床研修医を修了し、静岡赤十字病院で後期研修をさせて頂いております。執刀件数も比較的多く、日々充実した外科研修を積ませていただいております。まだまだ至らぬ点はありますが、日々精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

出身高校：慶應義塾志木高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：ラグビー部、ウェイトトレーニング



佐野厚生総合病院

原田 大暉 (95回)

出身高校：駒場東邦高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：水泳部

この度、慶應義塾大学外

科学教室に入室させていただきました。95回生原田大暉と申します。
済生会宇都宮病院での2年間の初期研修を経て、現在は佐野厚生総合病院にて研鑽を積ませていただきました。伝統ある外科学教室の一員になれたことを誇りに、常に患者さんに寄り添い、笑顔にできる医療を提供し、教室を引っ張っていくため日々精進していきます。
今後とも何卒熱いご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



太田記念病院

松尾 健太郎 (95回相当)

出身高校：三田学園高等学校
出身大学：近畿大学
クラブ：趣味：テニス部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。95回生相当の松尾健太郎と申します。
太田記念病院で外科医としての1年目をスタートし、温かいご指導を賜りながら、日々修練を積んでおります。至らぬ点が多いかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。



湘南東部総合病院

石川 結美子 (95回相当)

出身高校：岡山白陵高等学校
出身大学：山口大学

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。石川結美子と申します。初期研修1年目でお世話になった湘南東部総合病院で、外科医としての1年目も研修させていただきました。諸先輩方よりご指導を賜っております。今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



多摩丘陵病院

宇田川 大輔 (95回)

出身高校：慶應義塾高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：サッカー部

この度、慶應義塾大学外

科学教室に入室させていただきます。誠にありがとうございます。中学から慶應にお世話になっておりますが、慶應外科学教室は私の1番の憧れでした。
初期研修2年は日本赤十字社医療センターで過ごし、今年度から多摩丘陵病院の外科レジデントとして日々外科漬けの毎日を楽しんでおります。外科の先生方には大変お世話になっております。今後とも日々全力で頑張る所存でございますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



国立病院機構埼玉病院

辻 貴之 (95回)

出身高校：慶應義塾高校
出身大学：慶應義塾大学

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。95回生の辻貴之と申します。済生会宇都宮病院にて初期研修終了後、現在国立病院機構埼玉病院にて後期研修を行っており、非常に充実した日々を過ごさせて頂いております。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



国際親善総合病院

小木曾 匡 (95回相当)

出身高校：県立横須賀高等学校
出身大学：杏林大学
クラブ：趣味：サッカー部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。95回生相当の小木曾匡と申します。現在は国際親善総合病院で外科医としての人生を開始し、諸先輩方から温かい御指導を賜り、日々修練を積ませて頂いております。至らぬ点も多いかと存じますが、今後とも御指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



済生会中央病院

北 英典 (95回相当)

出身高校：暁星高校
出身大学：日本医科大学
クラブ：趣味：硬式テニス

この度、慶應義塾大学外

科学教室に入室させていただきました。95回生の前田智早と申します。初期研修を厚生連茨城西南医療センター病院で修了し、現在は川崎市立川崎病院で外科専修医1年目として研鑽を積んでおります。
素晴らしい諸先輩方のご指導のもと外科修練を積めることを誇りに思い、日々精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。



川崎市立川崎病院

前田 智早 (95回)

出身高校：東京学芸大学附属高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：趣味：サッカー部、管弦楽団

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させていただきました。95回生相当の黒田純子と申します。本年4月より、日本鋼管病院外科に勤務しております。癌研病院(大塚)、癌研有明病院、国際医療福祉大学三田病院などで主に上部消化管、癌診療に携わってまいりました。日々進化する医療の中で、外科医本来の手術技量の向上はもとより、患者様個々に合わせたオーダーメイド医療ができるように、今後とも研鑽を積みみたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



荻窪病院

崎本 優里 (95回相当)

出身高校：福岡県立筑紫高等学校
出身大学：佐賀大学
クラブ：趣味：テニス部

この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させていただきました。95回生相当の黒田純子と申します。本年4月より、日本鋼管病院外科に勤務しております。癌研病院(大塚)、癌研有明病院、国際医療福祉大学三田病院などで主に上部消化管、癌診療に携わってまいりました。日々進化する医療の中で、外科医本来の手術技量の向上はもとより、患者様個々に合わせたオーダーメイド医療ができるように、今後とも研鑽を積みみたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



東京歯科大学市川総合病院

久岡 和彦 (95回相当)

出身高校：慶應義塾
出身大学：慶應義塾
出身大学：慶應義塾
出身大学：慶應義塾

この度、慶應義塾大学外

科学教室に入室させていただきます。95回生相当の黒田純子と申します。本年4月より、日本鋼管病院外科に勤務しております。癌研病院(大塚)、癌研有明病院、国際医療福祉大学三田病院などで主に上部消化管、癌診療に携わってまいりました。日々進化する医療の中で、外科医本来の手術技量の向上はもとより、患者様個々に合わせたオーダーメイド医療ができるように、今後とも研鑽を積みみたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



日野市立病院

上村 翔 (95回)

出身高校：慶應義塾高校
出身大学：慶應義塾大学

この度、刀林会に入会させていただきました。黒田純子と申します。本年4月より、日本鋼管病院外科に勤務しております。癌研病院(大塚)、癌研有明病院、国際医療福祉大学三田病院などで主に上部消化管、癌診療に携わってまいりました。日々進化する医療の中で、外科医本来の手術技量の向上はもとより、患者様個々に合わせたオーダーメイド医療ができるように、今後とも研鑽を積みみたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



日本鋼管病院

黒田 純子 (75回相当)

この度、刀林会に入会

この度、刀林会に入会させていただきました。黒田純子と申します。本年4月より、日本鋼管病院外科に勤務しております。癌研病院(大塚)、癌研有明病院、国際医療福祉大学三田病院などで主に上部消化管、癌診療に携わってまいりました。日々進化する医療の中で、外科医本来の手術技量の向上はもとより、患者様個々に合わせたオーダーメイド医療ができるように、今後とも研鑽を積みみたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

慶應病院 外来 外科担当表

Table of outpatient surgery staff. Columns include: 初診外来(午前), 一般・消化器外科, 小児外科, 呼吸器外科, 脳神経外科, 心臓血管外科, 各月変更, 第4, 第5, 第6, 第7, 第8, 第9, 第10, 第11, 第12.

Table of special outpatient surgery staff (午後). Columns include: 特殊外来(午後), 肝臓・移植, 胆道・胃, ヘルニア, 呼吸器, 機能疾患(パーキンソン病), 肝臓・移植, 胆道・胃, 乳腺, 食道・胃, 小児外科, 呼吸器(気胸), 免疫療法.

- List of staff members with their names and dates of birth or specific dates. Includes: 樋口 公明君 (28回), 前田 芳造君 (40回), 加藤 暁君 (24回), 内匠 昭君 (33回), 村上 秀樹君 (59回), 宮崎 道夫君 (40回).

訃報

- List of staff members with their names and dates of birth or specific dates. Includes: 小児移植(第2・4), 脳腫瘍補助療法II, 佐々木光, 星野 健, 高橋麻衣子, 堀周太郎, 尾原秀明, 松原健太郎, 菱田智之, 小田正人, 岡林剛史, 鶴田雅士, 石田隆平, 茂田浩平, 大平貴之, 秋山武紀.



- Editorial Board (編集委員) members: 委員長 川村 雅文, 副委員長 石井 良幸, 顧問 佐藤 周三, 顧問 磯部 陽, 顧問 小澤 壯治, 顧問 古梶 清和, 顧問 儀賀 理暁, 顧問 齊藤 淳一, 顧問 藤野 明浩, 顧問 大塚 崇, 顧問 下島 直樹, 顧問 落合 大樹, 顧問 鶴田 雅士, 顧問 木村 成卓, 顧問 中村 恵子, 顧問 松本 暁子.

編集後記
ちまたは『二刀流』が大流行である。立役者の大谷選手だが、彼のこの活躍を予想できた人はいたのだろうか？彼れくらいに常識を超えたスパーマンといったところか。
ところで、消化器外科の世界では、今や開腹手術と腹腔鏡手術の二刀流が当たり前で、ロボット手術が本格的に始まり、ついに三刀流時代の到来である。私も外科医になってもうすぐ20年になるが、初めてメスを持った自分の緊張感と

感動はいまだに昨日のことのように覚えている。これから始めるロボット手術はどんな感じになるのだろうか？はやる気持ちを抑えられない自分は生まれ変わってもやっぱり外科医を選んでいと思う。
M. T

刀林会 会員管理システム 導入のお知らせ
この度、刀林会では、会員管理システムを導入し、会員の皆様にご自身の登録情報をご確認いただけるようになりました。
ご活用ください。
ログインするには、ご自身のメールアドレスの刀林会での登録が必要となります。
未登録の場合は刀林会までご連絡をお願いいたします。
tourin-h@keio.jp

刀林会事務局よりお知らせ
メールアドレスの登録をお願いいたします。
変更になった場合もお知らせください。
tourin-h@keio.jp (お名前、回生をお願いします)

開業についてのお知らせ
開業の際は、同窓会へご連絡をお願いいたします。
記念に刀林会より盾を進呈いたします。
よろしくお祈りいたします。
<刀林会 事務局>
〒160-8582 新宿区信濃町35
慶応義塾大学医学部外科同窓会事務局
TEL : 03-5363-3800
FAX : 03-3359-9130
tourin-h@keio.jp

刀林会総会のお知らせ
<日時>
2019年6月22日(土) 16時半から
<場所>
ホテルオークラ東京
別館地下2階 アスコットルーム
講演：厚生労働省 健康局長 宇都宮 啓先生